

【報告第1号】

平成29年度事業計画

〔基本方針〕

「晴れの国おかやまデスティネーションキャンペーン（DC）」の成果を一過性のものとせず、その効果を継続させるため、4月から「おかやまハレいろキャンペーン」を展開する「晴れの国おかやま観光キャンペーン推進協議会」と一体となって、次の3項目を重点事業として、積極的な誘客活動に取り組む。

〔重点事項〕

1 魅力ある観光素材の提供と商品化の促進

多様化する観光ニーズに対応するため、専門家のアドバイスを得ながら観光素材の発掘・磨き上げを行うとともに、プラットフォームシステムや体験型商品販売サイトの活用、旅行会社等の視察招致や商談会の開催等を通じて、新たな旅行商品の造成・販売を促進する。

2 多様な媒体を活用した情報発信

観光情報の収集手段が多様化する中、テーマやターゲットを絞った情報発信がますます重要となっており、「おかやま旅ネット」やフェイスブック等インターネットの活用とともに、テレビや雑誌など首都圏メディアへの取材招致に取り組み、それぞれの特性を活かした効果的な情報発信を行う。

また、急増する外国人旅行者への情報発信として、多言語サイトやSNSを活用し、国や地域のニーズを踏まえた効果的な情報発信を行う。

3 おもてなしの推進

来訪された観光客を温かく迎え、「岡山は良かった」「また来たい」と言ってもらえるよう、なお一層のおもてなし意識の向上を目指して、業界団体と協力して研修会を開催する。また、観光ボランティアガイドの資質向上のため、研修会を開催するなど、観光客の満足度を高める。

平成29年度事業体系図

		事業名	予算額 (千円)	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 平成 29 年度 予算総額 138,818 千円 (141,178 千円) </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 誘客受入事業 73,443 千円 (71,624 千円) </div>	魅力ある観光素材の提供と商品化の促進	54,520	
		教育旅行の誘致	2,586	
		コンベンションの誘致	3,804	
		フィルムコミッション活動	3,526	
		広域観光の推進	2,344	
		イベント等を活用した誘客活動	3,948	
		おもてなしの推進	2,093	
		観光事業功労者の表彰	622	
		誘客受入事業費合計		73,443
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 情報発信事業 56,480 千円 (60,332 千円) </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 情報発信事業 56,480 千円 (60,332 千円) </div>	多様な媒体を活用した情報発信
総合的な観光案内業務の実施	6,711			
観光コルトンの活用	1,930			
おかやま観光特使	444			
情報発信事業費合計				56,480
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 収益事業 1,999 千円 (2,034 千円) </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 収益事業 1,999 千円 (2,034 千円) </div>	「おかやま旅ネット」へのバナー掲出	937	
		観光コルトンへの広告掲出	1,062	
		収益事業費合計		1,999
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 法人管理 6,896 千円 (7,188 千円) </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 法人管理 6,896 千円 (7,188 千円) </div>	法人の管理運営	6,896	

() 内は前年度数字

[個別事業]

I 誘客受入事業

1 魅力ある観光素材の提供と商品化の促進【54, 520千円】

(1) 観光素材の発掘・磨き上げとプラットフォームシステム等の活用

観光客の多様化するニーズに対応した魅力ある観光素材を提供するため、市町村・観光協会等と連携し、プラットフォームシステムの運営会社等のノウハウを活用し、観光素材の発掘・磨き上げに取り組む。

①プラットフォームシステムを活用した旅行商品化

観光素材の組み合わせや、手数料を組み込むなど、旅行会社が販売しやすい商品としてパッケージにし、プラットフォームを活用した商品として、全国の旅行会社へPRする。

②体験型観光商品の開発（新規）

近年ニーズの高まっている体験型観光について、その発掘・磨き上げを行い、観光客に直接訴求できる専用サイトを活用した体験型観光商品の情報発信に取り組む。

(2) 旅行会社へのプロモーション活動

DCの開催により、本県の観光素材への認知度が高まっており、代表的な観光素材はもちろん、DCを契機に発掘・磨き上げた素材などを観光素材集として取りまとめ、首都圏をはじめとした大都市圏を中心に旅行会社を訪問し、商品造成を働きかける。

また、旅行会社や観光団体等が実施する説明会などにも積極的に参加し、プロモーション活動を行う。

(3) 観光商談会の開催

主要都市において、観光プレゼンテーションに併せて旅行会社の商品造成担当者と、本県の観光関係者（市町村・観光協会、旅館ホテル、運輸、観光施設等）との商談会を開催する。

・開催予定地 東京都、大阪市、名古屋市、福岡市

(4) 旅行会社等の視察招致

旅行会社の商品造成担当者の現地視察・体験は商品造成に効果的であり、日程や視察コースに、視察者の希望を最大限取り入れるなど、積極的に招

致する。

また、年金旅行の誘致に向け、信用金庫の担当者を対象としたファムツアールを実施する。

(5) 旅行商品造成への助成

本県を対象とした旅行商品の造成を促進するため、旅行会社が作成する商品パンフレット等の作成経費の助成を、商品の販売時期が偏らないよう、上期・下期など時期を分けて実施する。

(6) 旅行会社とタイアップした誘客事業（新規）

全国を対象に、大手旅行会社が行う集中送客キャンペーンに協力し、旅行商品の造成や、キャンペーン情報の発信に取り組む。

- ・日本の旬（JTB）平成30年4月～9月（中国5県が対象）
- ・晴れの国でハレの日を！（阪急交通社）平成29年4月～30年3月

2 教育旅行の誘致【2,586千円】

市町村・観光協会等で組織する「岡山県教育旅行誘致推進協議会（事務局当連盟）」を中心に、本県ならではの学習素材の発掘、磨き上げを促進し、来県校や来県の見込の高い学校及び関係旅行会社に対し、訪問等による誘致活動を実施する。

(1) 訪問活動

①学校訪問

中学校・高校：東京都、愛知県、岐阜県ほか
小学校：大阪府、京都府、高知県ほか

②旅行会社等の訪問

学校訪問に合わせ、同地区の大手旅行会社や地元密着型の旅行会社へのPR行うとともに、企画側からの観点での情報収集を行う。

(2) 担当教諭等の視察招致

新たな訪問地として検討いただけるよう、担当教諭や旅行会社の担当者などの視察招致に取り組む。

(3) 教育旅行ガイドの改訂

教育旅行誘致の基本情報である「見る・学ぶ・体験する」を取りまとめた「教育旅行ガイド」を改訂する。

3 コンベンションの誘致【3, 804千円】

県内誘致組織と連携を図り、情報収集に努めるほか、主要なMICE関係者に本県での開催を働きかける。

(1) 連絡会議の開催

県内誘致組織との連携強化・情報の共有化を図り、戦略的・効果的な誘致活動を行うため、観光連盟が中心となり、コンベンション誘致連絡会議を開催する。

(2) 主要イベントでの誘致活動

県内誘致組織と連携して、全国規模のコンベンション等のキーパーソンへ、会議開催施設や観光資源等の様々な情報を提供するため、東京で開催される「国際ミーティング・エキスポ」へ出展する。

(3) 旅行会社MICE担当者等への情報提供

MICE情報に詳しい大手旅行会社の担当者を訪問し、本県の施設情報やエキスカージョンに必要な観光情報等を提供する。

4 フィルムコミッション活動【3, 526千円】

映像を通じた情報発信により観光客の誘致を図るため、岡山県フィルムコミッション連絡協議会の事務局として、映画やテレビドラマ等のロケーション撮影の誘致に必要な事業を実施する。

(1) ロケ地情報の提供等

県内のロケ地情報等を収集し、「おかやま旅ネット」を通じて提供するほか、映像制作会社等からの問い合わせに対し、地域FCや市町村へのロケ地の照会を行う。

また、ロケハン、ロケのための地元調整や同行案内、エキストラの手配等のロケ支援を行う。

(2) 研修会の開催

地域FC等のスキルアップを目指し、ロケ誘致の手法等を修得する研修会を開催する。

(3) 誘致活動の実施

在京制作会社が多数参加する、ジャパンフィルムコミッション主催の「全国ロケ地フェア」へ出展し、直接相談等を受けることにより、本県のロケ地としての魅力をPRする。

(4) 支援作品の活用

ロケ支援等を行った作品の特集ページを、「おかやま旅ネット」へ掲載するなど、「ロケ地めぐり」等による誘客を図る。

5 広域観光の推進【2, 344千円】

中国地域などの広域エリアで、自治体や観光団体等と連携した広域観光を促進する。

(1) 鳥取県との共同事業

岡山・鳥取両県及び両県観光連盟が協力し、両県への誘客を図る事業を実施する。

- ・東京アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」でのPR
- ・広域観光マップ「鳥取・岡山 drive map」更新 ほか

(2) 中国地域を対象とした広域観光事業

- ・日本観光振興協会中国支部事業
- ・中国地域観光推進協議会事業

6 イベント等を活用した誘客活動（観光PRスタッフによる活動を含む）

【3, 948千円】

県内外で行われる観光イベント等へ参加し、観光宣伝活動を行う。

(主な予定)

- ・「ハレいろキャンペーン」オープニングイベント（大阪市）
- ・晴れの国おかやま観光プレゼンテーション（東京都、大阪市）
- ・ツーリズムEXPOジャパン（東京都）
- ・中四国9県観光展（大阪市）
- ・ふるさと全国県人会まつり（名古屋市） ほか

7 おもてなしの推進【2, 093千円】

観光関係業界と連携した取り組みによるホスピタリティの向上と、ボランティアガイドの育成・活性化を図るなど、さらなるおもてなしの向上に取り

組む。

(1) 研修会の開催

観光関係団体と連携し、業界ごとに必要とされるおもてなし等の研修会を共同開催する。

- ・岡山県旅館ホテル生活衛生同業組合
- ・岡山県タクシー協会 ほか

(2) 観光ボランティアガイドの活性化

観光地の魅力を増し、観光客の満足度を高める観光ボランティアガイドの育成と資質向上、活性化を図るため、連絡会議や研修会を開催する。

研修会は、開催地のボランティアガイドの案内で視察を行ったのち、ガイド活動に必要なテーマの講演等を実施する。

また、HPによるボランティアガイド団体の活動紹介等を行う。

8 観光事業功労者の表彰【622千円】

観光関係者の意欲向上のため、本県の観光振興に寄与し、功労のあった方々を表彰する。

II 情報発信事業

1 多様な媒体を活用した情報発信【47,395千円】

県内の市町村、観光協会、観光施設等から提供された情報や、独自に収集した情報を一元的に分類、蓄積する岡山県観光情報システムをもとに、テーマやターゲットを絞った特集記事を作成するなど、多様化するニーズに合った観光情報を発信する。

(1) インターネットを活用した情報発信

①おかやま旅ネット

旅行者の来訪意欲を喚起させるため、「おかやま旅ネット」において、花や紅葉など旬の情報をはじめ、最新の観光情報などをタイムリーに発信するとともに、テーマに沿った記事を効率よく投稿できる新たな機能を活用し、スマートフォン等を意識した情報発信を行う。また、専門家のアドバイスによりアクセス分析を行い、「おかやま旅ネット」への集客アップ対策に取り組む。

さらに、フォトライブラリーのさらなる充実を図り、旅行会社やマスコミ等に、季節感あふれる魅力的な写真を提供する。

② SNSによる情報発信

多様化する旅行者のニーズに対応するため、伝播力の高いフェイスブックを活用し、テーマを絞った観光情報や隠れたスポット等を紹介する。

(2) 「おかやま旅ネット」のリニューアル(新規)

「おかやま旅ネット」は、サイト開設から8年が経過し、デザインを含め、機能性、操作性が低下している。そのため、専門家等の意見も取り入れながら、スマートフォンやタブレットの利便性や操作性を考慮した新たな機能も取り入れ、平成30年度の全面リニューアルを目指して、基本設計に取り組む。

(3) メディア等を活用した情報発信

① 首都圏メディアの取材招致(新規)

県と連携し、首都圏のテレビや雑誌などへのキャラバン等により、取材招致に取り組み、首都圏での多様な媒体を活用した情報発信を目指す。

② 地元メディアの活用

岡山市のシティFM(レディオモモ)と連携し、関係者が直接イベント情報等を発信することで、県内の周遊観光を促進する。

番組名：朝刊ラジオ～元気！おかやま(月、水、金の「お出かけ情報」)

(4) 多言語ホームページ

さらなる増加が見込まれる外国人旅行者の来訪を促進するため、海外の県の現地PRデスクとも連携し、国や地域の特性・ニーズに応じた情報を、英語、韓国語、中国語(簡体、繁体)、フランス語、タイ語により発信する。

また、併せてSNSを活用し、英語、韓国語、中国語(簡体、繁体)、タイ語で旅行者の関心が高いと思われるタイムリーな観光情報を提供する。

2 総合的な観光案内業務の実施【6,711千円】

電話等による観光案内のほか、県内市町村などの各種観光パンフレットの収集・保管・送付等、観光情報の発信を一元的に行う。

また、おかやま観光コンベンション協会が運営する「ももたろう観光センター」と連携し広域観光案内業務の充実を図る。

3 観光コルトンの活用【1, 930千円】

本県の玄関口であるJR岡山駅前の地下道壁面に設置された電照パネル(21面)に、市町村等と共同で美しい景観写真を掲示し、県内各観光地のPRを行う。

また、1面をデジタルサイネージとして、タイムラプス映像やイベント情報を提供する。

4 おかやま観光特使【444千円】

岡山県ゆかりの方を観光特使に委嘱し、名刺の交付や定期的な観光情報の提供により県外における口コミによる観光PRを依頼する。

Ⅲ 協賛事業及び収益事業

1 協賛事業等

(1) 事業協賛金 [収入見込 800千円]

連盟事業に対する協賛金を募る。

(2) 市町村等連携PR事業 [収入見込 1,425千円]

市町村・観光協会等とタイアップして、地元発の観光PRプラン等を作成し、旅ネットのコンテンツの充実を図る。

- ・掲載期間：3ヶ月～1年
- ・作成目標：10プラン程度

(3) 観光支援自動販売機寄付金 [収入見込 2,000千円]

コカ・コーラウエスト（株）と連携し、観光地などへ自動販売機を設置しているが、新たな設置候補地の情報を収集する。

2 収益事業

(1) 「おかやま旅ネット」へのバナー掲出 [売上目標 3,000千円]

民間会員を中心に「おかやま旅ネット」（PC・スマートフォン）のトップページ等にバナー広告を掲出する。

(2) 観光コルトンへの広告掲出 [売上目標 1,080千円]

市町村と共同で県内観光地の美しい景観をPRしている岡山駅前地下道の電照パネル（観光コルトン）21面について、広告収入を得て効率的な運営を行う。

今年度も、デザインを統一するため、キリンビール（株）の協力を得て実施する。